

令和 7 年度第 1 回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
1	避難所運営ゲーム（HUG）での訓練を行いたい が各種物品等が必要である。小学校単位で貸し出しがあるのかもしれないが、地域でも訓練を行いたいと考えているので指南等よろしくお願ひしたい。	まちづくり分野に関する勉強会	地域での要望状況も確認し対応してまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課
2	地域で避難所運営訓練を行ったが、実施後のアンケートでは、防災に対する意識が高まったという意見が多かった一方で、課題を指摘する意見も多数寄せられた。 今後も、地域の震災訓練に関し支援をお願いしたい。	まちづくり分野に関する勉強会	基本的に運営側の訓練であったため、避難者役の方には手持無沙汰になる場面が見受けられたことは認識しており、今後も、各種訓練に関し支援させていただきたいと考えている。	会議での回答のとおり	市民協働課
3	防災スピーカーについて、地域で聞こえないとの意見がある。訓練の実施を把握していなければ聞き取れない状況にあり、問題がある と考える。 また、防災以外で区役所は利用しないのか。	まちづくり分野に関する勉強会	防災スピーカーについては、基本的に区内で音声が届くよう配置していますが、時代の流れで高層マンションの建築や住宅窓の防音化等により、聞こえにくい状況にあることは、大阪市としても認識しているところである。 それらに対応し、全ての方に聞こえるように設置することは困難であるため、様々な情報ツールを利用し、皆さまに情報が届くようにしているところである。	会議での回答のとおり。また、その使用については、防災等での関連事業に制限していることから、その他イベント時の利用は行っていない。	市民協働課
4	「地域安全大会」が参考資料 3「イベントカレンダー」に載っていない。	・まちづくり分野に関する勉強会 ・森本委員	本資料は区役所主催・共催や、区役所が実行委員会に参画しているなど事業実施に関わっているイベントを掲載している。地域安全大会は地域の重要なイベントであることは承知しているが、上記の理由により掲載していないものである。	会議での回答のとおり	総務課 （総合企画） 市民協働課
5	課題 1「安全で安心なまちづくり」の具体的取組（防犯・安全対策）について、目標に達しなかった理由には違和感がある。様々な背景があると思うが、分析を精査して行う必要があるのではないかと考える。	まちづくり分野に関する勉強会	今回、ご意見をお伺いする際に、新たに特殊詐欺や交通違反通告制度（いわゆる「青キップ」）など、近年の安全や安心を取り巻く環境の変化をお伝えしたうえで、「安全で安心なまちづくり」についてご回答をお願いしていた。 交通ルールに対しての設問では、交通違反に関する答えを選択する割合が増加しているものの、大きな変化とまでは考えられない。 そのため、前年度実績から「安全で安心なまちづくり」がすすめられていると感じている比率が減少した理由については、特殊詐欺に対する不安も要因の一つではないかと考えている。 今後は、これまで行っている交通安全などの啓発も引き続き実施していくが、新手の特殊詐欺等にもスポットを当てて啓発を行うなど、様々な不安要素を検討しながら「安全	会議での回答のとおり	市民協働課

令和7年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
			で安心なまちづくりが進んでいる」と感じてもらえるように取り組みを進めていく。		
6	地域の活動においては、地域団体やNPO、企業などが参画する地域活動協議会にて行われているが、その主な母体となっているのは町会・連合である。 町会等が地域活動を行っていることについて、区役所で周知してもらいたい。 区のホームページに「地域コミュニティ」という項目があるが、内容を改めて町会加入促進を行ってもらいたい。	まちづくり分野に関する勉強会	現状を確認したところ、町会・自治会への加入を呼びかけるページの掲載場所がわかりにくい等の改善点が見つかった。わかりやすく改善するとともに、今後も地域活動協議会の活動紹介や、町会・自治会への加入促進に向けた広報活動に努めていく。	ホームページ修正済み 今後も地域活動協議会の活動紹介や、町会・自治会への加入促進に向けた広報活動に努めていく。	市民協働課
7	東成区に高等学校を設置してほしい。	・まちづくり分野に関する勉強会 ・大西委員	高等学校の設置については、令和4年度に市立高校を府へ移管し、役割分担を行っているため市（区）として設置することは難しい。しかし、高等学校があることにより、活性化などの効果も考えられるところであり、誘致等についても研究してまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課
8	学校は災害時避難所になっている。児童が在校中に地震が発生した場合でも子どもたちや避難住民の安全確保が円滑に行えるよう、普段から学校と地域との連携をより深めておくべきではないか。	子ども・教育分野に関する勉強会	ご意見は、学校長や当区役所防災担当にも情報共有し、子どもたちや避難所に来られた方々が円滑に避難できるよう取組を進めてまいりたい。	子どもたちや避難所に来られた方々が円滑に避難できるよう、関係先と連携しながら、発災時の避難所としての活用について情報共有を図っていく。	市民協働課
9	近年、外国籍住民が増加している。外国籍の子どもへの教育・子育て支援はどのような支援を行っているのか。	子ども・教育分野に関する勉強会	本市では外国籍の子どもも日本人と同一の教育を受けられる機会を保証しており、日本語指導を行う等、教育支援を行っている。また就学前の外国籍の子どもを保育所に入れたという要望もあり、保育が必要だと認定されれば、国籍に関係なく入所調整を行い保育所に入所をいただいている。	会議での回答のとおり	市民協働課 保健福祉課 (児童・保健)
10	「誰一人取り残すことのない学びの保証」の取組みにあたっては、暴力や貧困などの課題や、教員の働き方改革との兼ね合いもあるため、どこまで対応できるのか疑問がある。不登校児童・生徒への対応について、学校と区役所はどのように連携しているのか。	子ども・教育分野に関する勉強会	大阪市では「こどもサポートネット事業」という仕組みのなかで、まず学校が、学校生活や家庭環境・経済的困窮等の課題があるケースについて、「スクリーニング」というかたちで、子どもひとりひとりの状況を客観的に把握するとともに、学校現場の対応だけでなく福祉的な支援も必要と考えられるケースは、学校と区役所が連携し、どのような支援をしていくかを共に考え対応している。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (児童・保健)

令和7年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
11	読書習慣定着を図る取組を検討しているとのことだが、具体的な内容について聞きたい。	子ども・教育分野に関する勉強会	本を読むきっかけづくりとして、本をたくさん読んだ子どもを褒める取組を検討中である。	会議での回答のとおり	市民協働課
12	朝に読書の時間を設けている学校があると聞いたが、そのような機会も活用することが読書習慣の定着につながるのではないかと。また、それぞれ子どもたちの読書力にあった本の紹介ができるような、子どもと本を繋ぐ人材がもっと必要ではないかと。	子ども・教育分野に関する勉強会	お見込のとおりであり、朝読書の時間を設けている学校もあると聞いている。また、司書への協力依頼も行っているところである。読書習慣の定着に向けて、区としても取り組んでまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課
13	区長と学校長との意見交換だけでなく、区長と生徒との意見交換も必要ではないかと。	子ども・教育分野に関する勉強会	昨年度から区内4中学校の生徒代表と区長が「防災」や「交通安全」など、テーマに沿った意見交換を行う「ひがしなり未来会議」を開催している。	会議での回答のとおり	総務課 (総合企画)
14	英語力を伸ばすような取組ができればなお良い。	子ども・教育分野に関する勉強会	市教育委員会では、英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合が6割以上となるよう取り組んできており、引き続き英語教育の強化に取り組んでいく予定である。	会議での回答のとおり	市民協働課
15	地域福祉活動である「ふれあい喫茶」が地域交流・ふれあいの重要な場となっている。活動者は参加者の様子を気かけ、参加者は会話やふれあいにより元気になる場となっている。そういった活動の場を大切にしたい。	保健福祉分野に関する勉強会	高齢者や障がいのある方をはじめ、多くの方が気軽に参加でき、活動者もいろんな形で活動に加わることができる「ふれあいの場」があること、継続されることが非常に大切であると考えている。引き続き、地域福祉活動をより多くの方に知っていただけるよう積極的に広報していく。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (保健福祉)
16	地域で気になる高齢者がいて、地域福祉活動サポーターと連携しているが、支援を拒否されるケースがある。そういった場合はどのように対応していけばよいのか。	保健福祉分野に関する勉強会	支援を拒否されるなど介入の難しい方がいる場合、見守り相談室が、期間を空けて再訪問するなど粘り強くアプローチしていく。生活上の変化が見えた時などはアプローチの糸口になるので、気づいた時に見守り相談室や専門職に情報提供していただけるようご協力をお願いしたい。	地域包括支援センターや見守り相談室をはじめとする専門相談機関、地域の身近な相談窓口である地域福祉活動サポーターについて積極的に広報を行う。また、ご自身の身の回りの困りごとやくらし・介護などを気軽に相談できたり、地域での見守りが必要な方への気づきなどについて速やかに情報提供・相談できる関係づくりの更なる推進のため、引き続き周知を図っていく。	保健福祉課 (保健福祉)
17	認知症は今後増えていくのではないかと感じている。認知症の予防策について、具体的に専門家の先生による講座などを実施してもらえないか。	保健福祉分野に関する勉強会	認知症は、寝たきりが原因になることもあり、寝たきりにならないための骨粗しょう症の講座なども行っている。認知症に関するものなど様々な講座を実施しているので、いつでも保健師を活用してほしい。	誰もが健やかに、自分らしく安心して暮らし続けられるよう、専門職による認知症予防の講座、各地域における高齢者のくらしや介護の身近な相談窓口について、積極的に広報を行ってまいります。	保健福祉課 (児童・保健) 保健福祉課 (保健福祉)

令和7年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
18	民生委員のなり手が少ない。年齢制限が65歳となっているが、今は高齢社会で定年も65から70歳へ延長しているため、年齢制限も考え直さないといけない。 東成区は外国人も増えているため、日本国籍でない方も民生委員となれるよう制度を改正してほしい。	保健福祉分野に関する勉強会	全国的になり手不足の状況があり、元気な高齢の方も多いため、ご意見があることや現状を伝えていく。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (児童・保健)
19	他市で中学校のクラブ活動がなくなるという話を聞いた。また他県では学校を超えて複数の学校と一緒にクラブ活動を行っているところもあると聞く。塾代助成事業のように民間企業が参入してくることがあるなら不安である。	平井委員	本市では部活の指導員の増員や学校選択制冊子でクラブ活動を紹介するなどしており、クラブ活動がなくなるという話にはなっていない。複数の学校が合同で活動することは本市でも実績があり、機会の提供や教員の負担軽減にもつながっている。なお、塾代助成事業は民間のスポーツ教室でも使用できる。	会議での回答のとおり	市民協働課